

## 清水海隆先生略年譜・主要記録

### 【略 歴】

- 昭和46年 3月 神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業  
昭和46年 4月 立正大学仏教学部仏教学科入学  
昭和50年 3月 立正大学仏教学部仏教学科卒業  
昭和51年 4月 立正大学大学院文学研究科修士課程仏教学専攻入学  
昭和54年 3月 立正大学大学院文学研究科修士課程仏教学専攻修了（文学修士）  
昭和54年 4月 立正大学大学院文学研究科博士課程仏教学専攻入学  
昭和57年 3月 立正大学大学院文学研究科博士課程仏教学専攻単位取得満期退学

### 【学 位】

- 昭和50年 3月 文学士 「瑜伽師地論に見られる三聚浄戒について」  
昭和54年 3月 文学修士 「瑜伽師地論本地分中五識身相応地・意地の研究—Yogacarabhumi  
相当部分の翻訳を中心として—」  
平成13年 2月 博士（文学）「仏教福祉の思想と展開に関する研究」

### 【職 歴】

- 昭和57年 4月～平成 6年 7月 立正大学法華経文化研究所研究員  
昭和57年 5月～昭和58年 3月 日蓮宗宗費研究員  
昭和57年 9月～昭和58年 3月 立正大学保育専門学校非常勤講師（仏教学）  
昭和57年11月～ 大学設置審議会の教員組織審査の判定〔立正大学短期大学部、講師（宗教学  
概論）〕  
昭和58年 4月～昭和61年 3月 立正大学短期大学部専任講師（宗教学概論）  
昭和58年 4月～平成 8年 3月 立正大学仏教学部非常勤講師（法華思想史）  
昭和58年 4月～平成 8年 3月 立正大学法学部非常勤講師（宗教学概論）  
昭和60年 4月～平成 7年 3月 立正大学仏教学部非常勤講師（仏教学基礎演習）  
昭和61年 4月～平成 5年 3月 立正大学短期大学部助教授（宗教学概論・仏教社会福祉）  
昭和62年 4月～現在に至る 立正大学日蓮教学研究所研究員  
平成 5年 4月～平成 8年 3月 立正大学短期大学部教授（宗教学概論・仏教社会福祉）  
平成 6年 8月～現在に至る 立正大学法華経文化研究所特別所員  
平成 6年11月～ 大学設置審議会の教員組織審査の判定〔身延山大学仏教学部非常勤講師（仏  
教実践研究）〕  
平成 7年 4月～平成 8年 3月 立正大学仏教学部非常勤講師（仏教と社会福祉）

平成7年9月～ 大学設置審議会の教員組織審査の判定〔立正大学社会福祉学部助教授（仏教社会福祉・仏教学・仏教福祉特講Ⅰ・社会福祉演習・教養基礎演習）〕

平成8年4月～平成12年3月 立正大学社会福祉学部助教授（仏教社会福祉・仏教学・仏教福祉特講Ⅰ・社会福祉演習Ⅰ・教養基礎演習）

平成9年4月～平成11年3月 身延山大学仏教学部非常勤講師

平成9年12月～ 大学設置審議会の教員組織審査の判定〔立正大学社会福祉学部助教授（仏教福祉特講Ⅱ）〕

平成11年4月～平成13年3月 社会福祉法人橘福祉会理事（学部付置）

平成11年9月～ 大学設置審議会の教員組織審査の判定・合〔立正大学大学院社会福祉学研究科助教授（仏教福祉思想特論）〕

平成12年4月～現在に至る 立正大学社会福祉学部教授（仏教社会福祉・仏教福祉特講Ⅰ・社会福祉演習Ⅰ・教養基礎演習・宗教学概説）

平成13年4月～現在に至る 立正大学大学院社会福祉学研究科教授（仏教福祉思想特論）

平成16年4月～平成19年3月 立正大学入試センター長

平成19年4月～平成22年3月 立正大学学園常任理事・立正大学副学長

平成22年4月～平成23年3月 立正大学社会福祉学部ボランティア活動推進センター長

平成23年4月～平成26年3月 立正大学社会福祉学部社会福祉学科主任

平成26年4月～令和2年3月 立正大学社会福祉学部長

現 職 立正大学社会福祉学部教授・同大学院社会福祉学研究科教授

### 【賞 罰】

平成3年7月 日本印度学仏教学会「学会賞」受賞

### 【学 会】

昭和51年4月～現在 日本印度学仏教学会

昭和57年4月～現在 日本仏教学会

昭和57年6月～現在 日本宗教学会

昭和58年9月～現在 日本仏教社会福祉学会

平成6年7月～現在 日本社会福祉学会

平成6年7月～現在 日本地域福祉学会

平成12年4月～現在 日本仏教教育学会

平成12年4月～現在 日本仏教社会福祉学会理事（後に、年報編集委員長、代表理事）

平成18年4月～現在 仏教看護・ビハーラ学会

平成25年4月～現在 日本福祉文化学会

### 【社会における主な活動】

- 平成11年4月～平成13年3月 社会福祉法人橘福祉会理事  
平成15年4月～平成16年3月 介護保険介護認定審査会委員（埼玉県大里広域市町村圏組合）  
平成17年10月～現在 埼玉県大里地区福祉有償運送市町共同運営協議会会長  
平成17年10月～現在 埼玉県北埼玉地区福祉有償運送市町共同運営協議会副会長（後に会長）  
平成18年10月～令和4年3月（埼玉県）大里地域自立支援協議会会長  
平成23年7月～平成30年3月 学校法人橘学苑理事  
平成26年5月～現在 社会福祉法人はぐくむ会評議員  
令和2年4月～令和3年3月 熊谷市障がい者施策推進委員会委員長  
令和3年8月～現在 熊谷市バリアフリー基本構想策定協議会委員（副委員長）  
令和4年4月～現在 学校法人堀之内学園理事

### 【研究業績】

#### 〈著書〉

- 「吉田久一と仏教福祉思想－原始仏教・鎌倉仏教への関心をめぐって－」（共著）令和3年3月，大谷栄一ほか編『吉田久一とその時代－仏教史と社会事業史の探求－』，法蔵館，全532頁，pp.405-434
- 「仏教は災害をどのように捉えるか」（共著）平成26年4月，金井淑子編『ケアの思想の錨を－3.11，ポスト・フクシマ〈核災社会〉へ－』，ナカニシヤ出版，全333頁，pp.94-119
- 「いのちの輝きに生きる暮らしと仏教社会福祉」（共著）平成26年3月，日本仏教社会福祉学会編『仏教社会福祉入門』，法蔵館，全210頁，pp.119-128
- 「仏教感化救済会」のハンセン病救療活動とその思想的背景」（共著）平成23年12月，西山茂・小野文瑠・清水海隆『大乗山法音寺の信仰と福祉』，仏教タイムス社，全180頁，pp.137-171
- 「近代法華系ハンセン病救療活動について－法音寺のハンセン病救療事業と仏教福祉活動－」（共著）平成23年10月，浜島典彦・清水海隆『大乗山法音寺の源流と近現代仏教福祉』，仏教タイムス社，全63頁，pp.27-60
- 「仏教の福祉理念と福祉活動」（共著）平成17年10月，立正大学社会福祉学部編『福祉文化の創造』，ミネルヴァ書房，全355頁，pp.19-31
- 『考察 仏教福祉』（単著）平成15年3月，大東出版社，全163頁
- 『仏教福祉の思想と展開に関する研究』（単著）平成14年3月，大東出版社，全390頁
- 「仏教社会事業の組織化」（共著）平成11年10月，池田英俊他編『日本仏教福祉概論－近代仏教を中心に－』，雄山閣出版，全284頁，pp.213-220
- 『原典仏教福祉』（共著）平成7年3月，溪水社，全172頁，pp.11-14, 16-17, 19-20, 22-24, 35-36
- 『日蓮宗社会教化業および活動に関する意識調査報告書』（単著）平成7年3月，日蓮宗全国社

- 会教化事業連合会・日蓮宗護法伝道部編，全100頁  
『仏教社会福祉に関する実態調査報告書』（共著）平成6年10月，立正大学短期大学部仏教社会福祉研究会編，全33頁，pp25-29  
『秩父市在宅福祉サービス調査研究報告書』（共著）昭和62年3月，秩父市社会福祉協議会編，全118頁，pp.7-82  
『東松山市における民間在宅福祉サービス調査研究報告書』（共著）昭和61年12月，東松山市社会福祉協議会編，全131頁，pp29-115

〈学術論文〉

- 「近世日蓮宗における倫理実践派の系譜」（単著）令和2年3月，『長谷川仏教文化研究所所報』第4号，pp.337-353  
「日蓮宗系免囚保護事業の動向－日蓮宗東京慈濟會の創設動向を中心として」（単著）平成26年3月，『日蓮教学教団史の諸問題－松村壽巖先生古稀記念論文集』，山喜房佛書林，全1095頁，pp.853-872  
「大正時代冒頭における日蓮宗系免囚保護事業の動向」（単著）平成26年2月，立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第28号，pp.21-33  
「東日本大震災に対する仏教教団の関わり－日蓮宗を例として－」（単著）平成25年1月，立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第27号，pp.47-65  
「宗教病院大日本救世館をめぐる人物像」（単著）平成23年3月，『仲沢浩祐博士古稀記念論文集・インド仏教史仏教学論叢』，山喜房佛書林，全695頁，pp.361-378  
「近代法華系ハンセン病救療活動について」（単著）平成22年10月，『冠賢一先生古稀記念論文集 日蓮教学教団史論集』，山喜房佛書林，全862頁，pp.561-592  
「晩年の著作にみる加治時次郎の仏教観に関する一考」（単著）平成20年2月，『坂輪宣敬博士古稀記念論文集 仏教文化の諸相』，山喜房佛書林，全972頁，pp.27-39  
『戦後仏教社会福祉事業の歴史』（共著）平成19年5月，法蔵館，全250頁中，1-12「日蓮宗」，2-7「生活救済」，2-8「災害救済・支援」，2-9「ボランティア活動」，2-15「団体・組織」，pp.108-119，169-186，194-203，238-242  
「仏教と福祉の接点－仏教福祉哲学（序）」（単著）平成19年3月，『法華文化研究』第33号，pp.205-214  
「日蓮系臨終行儀思想の系譜について」（単著）平成16年9月，立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第16号，pp.37-50  
「日蓮宗における戦後仏教福祉活動の動向」（単著）平成16年3月，立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第15号，pp.221-237  
「戦後日蓮宗の社会教化活動をめぐって」（単著）平成15年3月，『渡辺宝陽先生古稀記念論文集 日蓮教団史論叢』，平楽寺書店，全749頁，pp.719-743

- 「日蓮宗『宗報』にみる大正期の日蓮宗社会教化事業の動向」(単著)平成14年3月,『桑原洋子教授古稀記念論集 社会福祉の思想と制度・方法』,永田文昌堂,全605頁, pp.79-97
- 「仏教福祉思想としての三聚浄戒」(単著)平成14年3月,『佐々木孝憲博士古稀記念論集 仏教学仏教史論集』,山喜房仏書林,全626頁, pp.119-132
- 「大乘仏教における福祉思想」(単著)平成14年2月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第11号, pp.47-60
- 「日本におけるターミナルケアと仏教者の関わりへの歴史的考察」(単著)平成13年3月,立正大学社会福祉研究所プロジェクト研究報告書2『ターミナルケアに関する研究』全81頁, pp.54-63
- 「『法華経』の福祉的記述について」(単著)平成13年3月,勝呂信静編・法華経研究13『法華経の思想と展開』,平楽寺書店,全671頁, pp.231-250
- 「大乘仏教と福祉思想」(単著)平成13年3月,『田賀龍彦博士古稀記念 仏教思想仏教史論集』,山喜房仏書林,全978頁, pp.193-208
- 「近代日蓮宗の社会教化事業」(単著)平成13年2月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第9号, pp.53-66
- 「『法華経』に見る福祉の背景の思想について(試論) - 森永松信の『法華経』理解を拠所として -」(単著)平成11年3月,『大崎学報』第155号, pp.93-107
- 「化身・変現思想について - 仏教福祉思想試論(2) -」(単著)平成11年2月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第5号, pp.55-60
- 「青年女子の人間観と適応感 - 日本の自己とのかかわりから -」(共著)平成10年9月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第4号, pp.89-105
- 「『四恩』について - 仏教福祉思想試論(1) -」(単著)平成10年2月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第3号, pp.31-36
- 「近代日蓮宗の教誨活動の端緒について」(単著)平成9年7月,『立正大学短期大学部紀要』第39号, pp.103-110
- 「社会福祉学部学生の人間観に関する調査 - 日本の自己とのかかわりから -」(共著)平成9年3月,立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第1号, pp.259-277
- 「明治期の仏教社会事業の動向について」(単著)平成8年9月,『立正大学短期大学部紀要』第37号, pp.49-60
- 「現代僧侶の福祉意識」(単著)平成7年9月,『日本仏教社会福祉学会年報』第26号, pp.127-138
- 「『瑜伽師地論』の菩薩地に関する一考察 - 十三住説と発心 -」(単著)平成6年3月,『宗教研究』第299号, pp.186-188
- 「仏教社会福祉の現状 - 仏教社会福祉に関する実態調査から -」(共著)平成5年12月,『立正大学短期大学部紀要』第33号, pp.50-51

- 「『法華経』における菩薩行－六波羅蜜関連記述について－」（単著）平成5年10月，田賀龍彦編・法華経研究12『法華経の受容と展開』，平楽寺書店，全871頁，pp.119-136
- 「『瑜伽師地論』の分科について(2)－『瑜伽師地論分門記』所示の本地分有尋有伺等三地科段整理私案－」（単著）平成5年6月，『立正大学短期大学部紀要』第32号，pp.1-15
- 「『瑜伽師地論』の菩薩地に関する一考察－十三住説再考－」（単著）平成5年3月，『日蓮教学研究紀要』第20号，pp.705-721
- 「『瑜伽師地論』の分科について(1)－『瑜伽師地論分門記』所示の本地分五識身相応地・意地科段整理私案－」（単著）平成4年12月，『立正大学短期大学部紀要』第31号，pp.21-37
- 「日本における救癩活動について－近代救癩活動の黎明期以前の活動について－」（単著）平成4年6月，『立正大学短期大学部紀要』第30号，pp.27-41
- 「『瑜伽師地論』の菩薩思想－本地分における修行道と階梯の構造的な理解－」（単著）平成4年3月，『宗教研究』第291号，pp.213-214
- 「『瑜伽師地論』菩薩地における女人成仏の構造について－階位説との関連において－」（単著）平成3年10月，日本仏教学会編『仏教と女性』，平楽寺書店，全347頁，pp.201-211
- 「菩薩地所説の階位説から見た菩薩行構造に就いて」（単著）平成3年6月，『立正大学短期大学部紀要』第28号，pp.1-12
- 「『瑜伽師地論』菩薩地における女人成仏の構造について－階位説との関連について－」（単著）平成3年5月，『日本仏教学会年報』第56号，pp.201-211
- 「中期大乘仏教における菩薩思想について（三）－菩薩地所説の階位説から見た菩薩行構造に関して－」（単著）平成3年3月，『印度学仏教学研究』第39巻第2号，pp.69-74
- 「『瑜伽師地論』の四菩薩行説－その菩提分法行所説について－」（単著）平成2年3月，『立正大学短期大学部紀要』第26号，pp.19-30
- 「『瑜伽師地論』菩薩地における仏陀観に関する所説の考察②－行品所説との関連性について－」（単著）平成元年3月，『法華文化研究』第15号，pp.53-62
- 「『瑜伽師地論』における方便善巧波羅蜜について」（単著）昭和63年12月，『印度学仏教学研究』第37巻1号，pp.50-56
- 「『福田会』の研究」（共著）昭和63年11月，『日本仏教社会福祉学会年報』第19号，pp.37-57
- 「『瑜伽師地論』菩薩地における仏陀観に関する所説の一考察－その方向性について－」（単著）昭和63年8月，日本仏教学会編『仏陀観』，平楽寺書店，全529頁，pp.67-77
- 「『瑜伽論』の波羅蜜説について」（単著）昭和63年3月，『宗教研究』第2号，pp.153-154
- 「創設期の福田会に関する一考察－設立の背景を中心として－」（単著）昭和63年3月，『立正大学短期大学部紀要』第22号，pp.1-14
- 「『瑜伽師地論』菩薩地における仏陀観に関する所説の一考察－その方向性について－」（単著）昭和63年3月，『日本仏教学会年報』第53号，pp.67-76
- 「日薩の社会福祉活動－福田会育児院について－」（単著）昭和62年8月，『日薩和上百遠忌記

- 念集』, 山喜房仏書林, 全514頁, pp.141-168
- 「『瑜伽論』と『解深密経』とにおける波羅蜜説の相違点をめぐって」(単著) 昭和62年6月, 『大崎学報』第143号, pp.30-41
- 「『瑜伽論』を中心とした中期大乘仏教の波羅蜜説の展開について」(単著) 昭和62年3月, 『宗教研究』第271号, pp.173-174
- 「中期大乘仏教における菩薩思想について(二) - 『瑜伽論』菩薩地を中心とした六波羅蜜説の展開について -」(単著) 昭和62年3月, 『印度学仏教学研究』第35巻2号, pp.74-79
- 「中期大乘仏教における菩薩思想について(一) - 『瑜伽論』菩薩地に見られる菩薩思想の考察① -」(単著) 昭和61年6月, 『大崎学報』第141号, pp.66-83
- 「『瑜伽師地論』の菩薩行について」(単著) 昭和61年3月, 『宗教研究』第267号, pp.172-173
- 「『瑜伽論』菩薩地における菩薩行」(単著) 昭和61年3月, 『棲神』第58号, pp.141-142
- 「綱脇龍妙と救癩施設・身延深敬園」(単著) 昭和61年3月, 『立正大学短期大学部紀要』第18号, pp.17-31
- 「『瑜伽師地論』の原典研究(Ⅲ) - 意地第2の和訳(その2) -」(単著) 昭和60年12月, 『大崎学報』第140号, pp.9-28
- 「『瑜伽論』の戒説について」(単著) 昭和60年6月, 『大崎学報』第139号, pp.155-164
- 「仏教社会福祉論 - インドにおける事例としてのアショーク王について -」(単著) 昭和60年3月, 『宗教研究』第263号, pp.151-152
- 「『瑜伽師地論』の諸法相の研究(一) - 序論 -」(単著) 昭和60年3月, 『印度学仏教学研究』第33巻2号, pp.67-72
- 「『瑜伽師地論』に見られる煩惱の三界五部別の混乱について」(単著) 昭和60年2月, 中村端隆先生古稀記念論文集『仏教学論集』, 春秋社, 全728頁, pp.319-336
- 「仏教社会福祉論(Ⅱ) - 資料紹介「三聚浄戒」 -」(単著) 昭和59年9月, 『立正大学短期大学部紀要』第15号, pp.19-35
- 「仏教社会福祉論 - 教義的背景としての「福田」について -」(単著) 昭和59年3月, 『宗教研究』第259号, pp.269-270
- 「『瑜伽師地論』の原典研究(Ⅱ)」(単著) 昭和59年3月, 『仏教学論集』第17号, pp.10-23
- 「仏教社会福祉論(Ⅰ) - 経典に見られる「福田」の展開 -」(単著) 昭和58年12月, 『立正大学短期大学部紀要』第13号, pp.21-34
- 「『瑜伽師地論』有尋有伺等三地の研究(二) - 煩惱の三界五部分別について -」(単著) 昭和58年12月, 『印度学仏教学研究』第32巻1号, pp.214-217
- 「仏教社会福祉の一考察 - その歴史的展開を中心として -」(単著) 昭和58年3月, 『宗教研究』第255号, pp.192-193
- 「十六異論の一考察」(単著) 昭和58年3月, 『棲神』第55号, pp.131-132
- 「『瑜伽師地論』の原典研究(Ⅰ)」(単著) 昭和58年3月, 『仏教学論集』第16号, pp.4-29

- 「『瑜伽師地論』有尋有伺等三地の研究（一）－十六異論に関する考察－」（単著）昭和57年12月、『印度学仏教学研究年』第31巻1号，pp.342-345
- 「『瑜伽師地論』心所法の研究（三）」（単著）昭和56年3月，『印度学仏教学研究』第30巻2号，pp.395-397
- 「『瑜伽師地論』心所法の研究－特に不定心所について－」（単著）昭和56年3月，『大崎学報』第134号，pp.29-50
- 「『瑜伽師地論』心所法の研究」（単著）昭和56年3月，『印度学仏教学研究』第29巻2号，pp.205-207
- 「『瑜伽師地論』における心所説の一考察」（単著）昭和54年12月，『印度学仏教学研究』第28巻1号，pp.162-163

#### 〈その他〉

- 『戦後仏教社会福祉事業史年表』（共著）平成19年5月，長谷川匡俊編，法蔵館，全280頁
- 『仏教社会福祉辞典』（共著）平成18年3月，日本仏教社会福祉学会編，法蔵館，全369中「新居日薩」「池上雪枝」「宇都宮仏教慈善会」「自覚」「大乘と小乗」「日蓮」「福田会」「森永松信」pp.10-11, 13-14, 28-29, 131-132, 213, 239-240, 259-260, 307-308
- Japanese Buddhist Activities and Social Welfare after World War II（口頭発表）平成17年3月，第19回国際宗教学宗教史会議世界大会（口頭発表 Roundtable session, Japanese 07P）
- 『戦後仏教系社会福祉事業の歴史と現状に関する総合研究』平成12年～平成14年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（1））研究成果報告書（全3冊）〔本編全256頁・資料編1『戦後仏教系社会福祉史年表』全494頁・資料編2『仏教系社会福祉施設・団体一覧：仏教系社会福祉事業・活動統計一覧』全183頁〕（共著）平成15年6月，研究代表者：長谷川匡俊（淑徳大学），本編中「日蓮宗系」「生活救済分野」「災害・支援分野」「ボランティア分野」「団体・組織分野」，資料編1・2の資料提供，年表編集を担当，pp.96-110, 169-195, 199-231, 251-256
- 『日蓮宗社会教化事業・活動の手引き（理念編）』（共著）平成14年2月，全国社会教化事業協会連合会・日蓮宗宗務院護法伝道部編，全248頁，pp.9-22
- 公開シンポジウム 戦後日本の仏教系社会福祉事業の歩みと展望（共著）平成12年9月，記録掲載『日本仏教社会福祉学会年報』第31号（共著者：シンポジスト・宮城洋一郎・落合崇志・梅原基雄・清水海隆，コーディネーター・長谷川匡俊）